

議題(2) 各公民館が抱える課題、問題点等について

公民館の周知

① 公民館の認知度の向上について 【坂下公民館】

公民館の存在は知っていても、何をするとところなのか、どうやって使えばいいのかわからない人も一定数存在する。

公民館を効果的に PR する方法はどのようなものがあるか。

新規会員・団体の募集

① 新規の登録団体を増やすことについて 【坂下公民館】

長く利用いただいている団体が多くある一方、新規登録は非常に少ない。そのため利用者の高齢化が進み、解散する団体も増加傾向にある。

解散する団体を減らす方法はあるか。

また、新規の団体、とりわけ若い世代で構成される団体に登録いただき、定着してもらうにはどのような方法があるか。

② 公民館利用団体の会員募集について 【中央公民館】

会員募集を希望する団体に公民館内にチラシの掲示、配架を行うと同時に広報わこうの「みんなの伝言板」に掲載依頼している団体があるが、多くの方に目を留めてもらうことに直結していない現状である。

そこで、長寿あんしん課所管するアプリ「GBER(ジーバー)」を利用し多くの地域住民(主に高齢者)への周知を図ろうと考えている(詳細は別途、チラシ参照)が、それ以外の周知方法としてのアイデアを委員の皆様よりいただきたい。

次世代の担い手育成

① 地域の学校等(幼稚園、保育園、小中学校、高校、特別支援学校)との交流及び公民館利用について 【中央公民館】

令和３年度から「地域学校協働本部」を公民館に設置して４年目を迎え、小中学校とは徐々に交流や公民館利用が行われているが、その他地域の学校等との交流はまだ少ない。

将来の公民館活動の担い手を育成することは喫緊の課題であることから、先進市の事例を学ぶことと併せ、委員の皆様からのアイデアをいただきたい。

その他

① 小学生・中学生の利用マナーについて 【南公民館】

本年３月に和光市こども計画が策定されたことを受け、こどもの居場所づくりの一環として公民館を積極的に開放したいが、現状、空いている部屋を特別に貸すと、例えば和室でサッカーしたり障子を穴だらけにしたりと、マナーが非常に悪い。また、wi-fi 目当てに来館する子どもが多く、時間の潰し方・遊び方に疑問を感じている。

② 館内飲食の制限について 【南公民館】

現状、水分補給程度は許可しているが、食事やお菓子については断っている。※お昼を挟み午前から午後を通して利用する場合を除く

ゴミやニオイの充満などの問題があるため、なかなか全面解禁まで踏み込めないが、一定のニーズはあると理解している。